

最新ハイビジョン ラパロシステム導入！



外科副部長（科長） 阿部 友哉

このたび腹腔鏡下手術の増加に伴い、並列で腹腔鏡下手術を施行できるようにともう一台ラパロシステムを購入しました。選定にあたりadvanced surgeryをより安全に施行するため、ハイビジョンシステムを選択しました。

KARL STORZ社のIMAGE 1TM HDは解像度1920×1080のフルハイビジョンで細かい血管の1本1本まで分かるほど非常に精細な画像で、さらに視野角もこれまでよりも広く情報量が多いため、より安全に手術が行えます。

モニターもハイビジョン用の大画面なので術者のストレスも軽減されます。

当科ではこのシステムを用いて腹腔鏡下の胃・大腸切除術を積極的に施行していく方針です。

また臨時手術への腹腔鏡の導入や単孔式手術へも専門医の指導のもと積極的に取り組んでいく予定です。

また内視鏡外科専門医の育成にも力を入れたいと考えております。よろしくお願ひ申し上げます。



最新ハイビジョンラパロ
システムと外科医スタッフ

腹腔鏡手術件数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度（前期）
胆嚢摘出術	52件	81件	55件
虫垂摘出術	8件	5件	1件
その他	9件	20件	20件
合計	69件	106件	76件